

処理方法 processing method

機密文書 いろいろな処理方法



機密文書の
様々な処理方法。
そのメリット、
デメリットとは？

機密文書の処理方法には、
いろいろありますが、それ
ぞれ①セキュリティ（紛失、
盗難などの危険性はない
か）②リサイクル（再生可能
か）③事務効率（手間のほか
に作業か、処理までの立合
いにかかる労力はどのくら
い）④時間（排出から処理
までにどれくらい時間がか
かるか）を基に比較します。
これらの項目がバランスよ
く、高い評価の処理方法を
実践することが重要です。



オフィスシュレッダー

（直接、お客様がオフィス用シュレッダーで細断する）

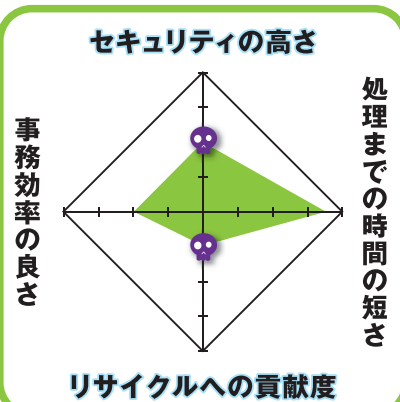
- セキュリティは一番高い。
- 量が多いと作業が大変、清掃が大変。
- 紙片の大きさと回収コストの問題により、リサイクルルートに乗りにくい。
- kgあたりのコストが実は一番高い。（人件費、ゴミ袋代、電気代）



焼却処分

（直接、焼却工場へ搬入して焼却する）

- 運送時の紛失、誤配送、盗難の危険性。
- 作業中の事故の危険性。
- 排出～搬入～処理までの立合。
- 再生は不可。
- CO₂やダイオキシンの発生が問題視される。



直接溶解

（直接、製紙会社へ搬入して溶解する）
（お客様から機密文書の入った専用ボックスを回収し、
製紙会社へ搬入、溶解する）

- 運送時の紛失、誤配送、盗難の危険性。
- 発生から処理までのリードタイムの長さ。
- 製紙会社の受入体制に左右され、タイムリーに処理できない。
- 再生品は板紙などに限定される場合もある。

